

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
A207	日本語応用 I	2年	講義	2	松田勇一
授業概要 1週間に2回の授業を行い、指定のテキストに沿って授業を進める。論説文の読解練習を中心におくが、討論、発表なども行い、学生たちが積極的に授業に参加することを期待する。テキスト本文に関連する最新の新聞、雑誌記事なども必要に応じ配布するので、それらもあわせて読む練習をする。					
到達目標(学習の成果) <ul style="list-style-type: none"> 日本語のレポートや学術論文などを読むのに必要な日本語文法および論説文を読み解くために役立つ論文構造に関する基礎的知識が身につく。(DP1 「コミュニケーション力」) 専門分野の論文を独力で読んでいくための基礎的読解力が身につく。(DP2 「情報力」) 					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	段落内の構造理解 導入	カルチャーショックについて各自の体験を発表し、討論する。			
2	段落内の構造理解 読解と討論	教科書第1課の本文を読み進め、難解な語句等を学習者相互で相談しながら理解していく。			
3	段落内の構造理解 文法理解	漢字小テストで漢字の理解を確認、文法事項を整理する。			
4	中心主題読み取り 導入	「いじめ」に関して、各自出身国の事情を紹介し、どんな問題があるか討論する。			
5	中心主題読み取り 本文読解	教科書第2課本文の読解を進め、段落ごとの中心主題を読み解く練習をする。			
6	中心主題読み取り 文法理解	漢字小テストで漢字の理解を確認、本文関連の文法、語彙を整理確認する。			
7	中心主題読み取り 補助教材読解	「いじめ」に関する新聞記事を読み、内容を要約する練習をする。			
8	文章概要読み取り 導入	衝動買いの体験談を共有し、商店の経営戦略について討論する。			
9	文章概要読み取り 本文読解	教科書第3課本文の内容を理解し、アウトライン構造を明らかにする練習を行う。			
10	文章概要読み取り 語彙確認	漢字小テストで漢字の理解を確認、本文関連のカタカナ語小テスト、複文構造を確認する。			
11	文章構成読み取り 導入	擬音語、擬態語や複雑な科学用語を調べ、食べ物の食感について討論する。			
12	文章構成読み取り 本文読解	各語彙の意味がわかったところで、教科書第4課本文の内容を概観する。			
13	文章構成読み取り 語彙文法整理	漢字小テストで漢字の理解を確認、指示表現の使い方を練習する。			
14	図表説明読み取り 導入	それぞれの出身地の結婚観、家族観について話し合い、語彙を整理する。			
15	図表説明読み取り 本文読解	グラフを見ながら、教科書第5課本文を読み解く練習をする。			
16	図表説明読み取り 語彙文法整理	漢字小テストで漢字の理解を確認、図表説明に使われる表現を整理する。			
17	中間試験	教科書第5課までの範囲を復習し、テスト形式で再確認を行う。			

18	事実と意見の読み取り 導入	アルバイト、フリーターなどの言葉を習い、労働形態について討論する。
19	事実と意見の読み取り 本文読解	教科書第6課本文の内容を理解し、意見を述べるときに使える文末表現を学習する。
20	事実と意見の読み取り 関連雑誌記事読解	漢字小テストで漢字の理解を確認、若者の雇用問題を論じた記事を読み、討論する。
21	論の展開法 導入	各自の出身国の水道事情について紹介し、討論する。
22	論の展開法 本文読解	教科書第7課本文の内容を理解し、各段落を要約し、論の展開法を分析する。
23	論の展開法 語彙文法整理	漢字小テストで漢字の理解を確認、意見・主張を表現する文末表現、反語疑問文を学習する。
24	引用表現読み取り 導入	「まじめ」という単語のイメージを各自発表し、若者言葉について討論する。
25	引用表現読み取り 本文読解	教科書第8課本文の内容を理解し、引用表現の読み取り方を学習する。
26	引用表現読み取り 語彙文法整理	漢字小テストで漢字の理解を確認、さまざまな接続表現を分類し、例文で確認しながら整理する。
27	要約文の作成 導入と本文読解	教科書第9課本文の内容を理解し、現在日本の医療現場の状況を調べる。
28	要約文の作成 語彙読解練習	漢字小テストで漢字の理解を確認、本文各段落の要約文を作る練習をする。
29	要約文の作成 関連記事読解	ガンとその告知を取り上げた記事を読み取り、その内容について討論する。
30	研究論文読解実践練習	研究論文の形式を学び、読解の方法を探る。

準備学修(授業外の自己学修)

教科書本文中の読めない漢字を調べ、不明な語彙の意味を予習しておく。授業後はよく復習し、漢字の書き取りや朗読練習なども各自でよく行う。図書館を有効に活用し、各自の興味がある分野の新聞や雑誌記事をたくさん読む。読んだ記事の概要を授業の中で発表する。

成績評価の方法・基準(%表記)

中間試験(30%)、期末試験(50%)、クラスでの口頭発表と小テスト(20%)などを総合評価する。

観点	S	A	B	C
教科書にある表記(漢字を含め)を正確に理解し、自身でも再生産する。	ほとんど問題なくできる	十分にできる	ほぼ正確にできる	ときどき間違えることがある
論説文の内容を理解し、概要をまとめる。	正確に理解できる	ほぼ問題なく理解できる	おおむね理解できる	不十分な部分もあるがほぼ可能
読み取った内容をもとに自身の意見を表明する。	自由に意見表明できる	おおむね伝えられる	不十分なところもあるがほぼ可能	多少わかりにくい部分がある

教科書

『改訂版 大学・大学院留学生の日本語③論文読解編』、アカデミック・ジャパニーズ研究会編著、アルク、2015年、1,944円参考書等

読解の補助教材として最新の新聞や雑誌の論説記事を配布することがある。予習時間が取れるよう余裕を持って配布する。

履修上の注意・学修支援

1週間に2回の授業を行い、両方受講して2単位取得となる。授業の中でさまざまな活動を行うので出席を特に重視する。遅刻もしないよう努力すること。全授業日数の2/3以上出席しないと期末試験の受験資格を失う。